



ケンタ君

「G空間社会」って、なんだか聞いたことがないんだけど・・・

スマートフォンやタブレットなどで、知りたい場所のことと地図を組み合わせると、便利で楽しく使うくらしのことじゃよ。国土地理院の人に聞いてみよう！



マップ博士

【G空間社会とは】

「G空間社会（ジクウかんしゃかい）」、初めて聞いたという人も多いと思います。どのような社会だと思いますか？ 例えば「車社会」、「情報社会」、「少子高齢化社会」といった言葉を思い浮かべるかもしれません。

G空間社会というのは、知りたい場所のことといろいろな地図を簡単に組み合わせることで、今までならそこへ行かなければできなかったことが行かなくてもできるようになったり、困っている人を助けられるようになったりする社会を指しています。ちなみに「G空間」は愛称で、「G」は、こうした社会で使われている「地理空間情報技術」（＝ Geospatial Technology ＝ジオスペースイタルテクノロジー）の頭文字を取ったものです。

もっと思い描いてみると、たとえば、家の車が自動で走るようになると、遊園地に着くまでの間、お父さんやお母さんと一緒にゲームやおしゃべりができるようになったりするかもしれません。事故や渋滞も少なくなるかもしれません。

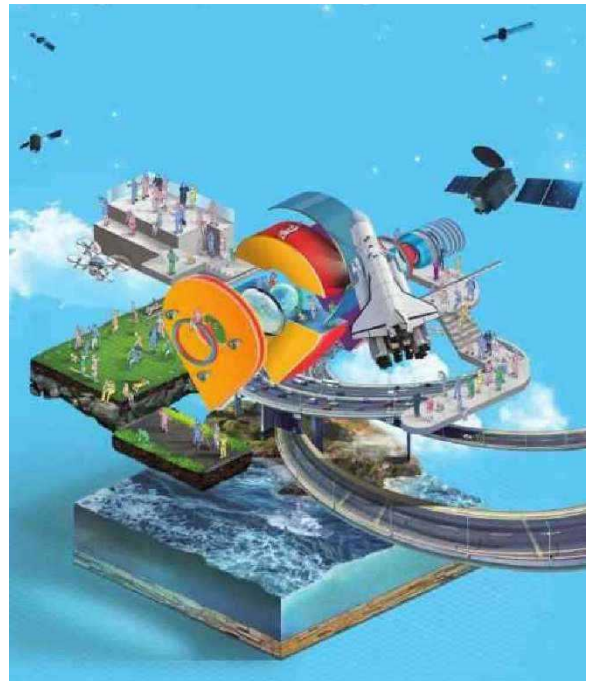
無人航空機（ドローン）を使って、ビルや街路樹を避けながら、目的地まで荷物を届けることができるようになると、今すぐ欲しいモノがあつという間に届くようになったりするかもしれません。

それだけでなく、大きな災害が発生したときに、自分がどこに逃げればいいのか、家族のみんなは無事なのか、学校や公園は壊れていないのかといったことを、少しでも早く、正確に知ることができるようになることで、これからどこへ行けばいいのか、誰と一緒に行動すればいいのか分かるようになります。

ほかにも、G空間社会が実現すると、もっともっとすごいことや楽しいことができるんじゃないかと思えてきませんか？

私たちのような、国で働く人たちは、このG空間社会を世界の中でも最高のものと言われるようにしたいと思っています。そのために、みんなが住んでいる全国の市町村、大学・研究所、民間の会社などの人たちとも一緒に力を合わせてがんばっています。

もしかすると、これを読んでいるみなさんも、わくわくするような楽しいアイデアを思いつき、何年後と一緒に世の中を変えていく仲間になるかもしれませんね。



みんな「G空間社会」の中にいます